

担当課	学校支援課
-----	-------

会議の名称	令和5年度第2回鴻巣市立中学校の部活動地域移行研究懇話会
開催日	令和6年2月27日(火)
開催時間	午後3時00分開会 午後4時40分閉会
開催場所	鴻巣市役所1001会議室
出席者氏名	清水 昭典 鴻巣市スポーツ協会 理事長 高橋 洋明 鴻巣市スポーツ少年団 本部長 海老名 寛 NPO法人鴻巣ブレス総合型スポーツクラブ 松本 安永 鴻響楽連盟 宮田 忠夫 部活動外部指導者(川里中学校サッカー部) 小川 平祐 部活動外部指導者(鴻巣南中学校吹奏楽部) 吉田 大樹 鴻巣市PTA連合会会長(鴻巣中学校) 三瓶 美穂 鴻巣市PTA連合会副会長(赤見台中学校) 藤村 郁夫 鴻巣市立小・中学校長会会長(鴻巣北小学校) 丸岡 聖典 鴻巣市立小・中学校長会副会長(吹上北中学校) 二瓶 亮 埼玉県中学校体育連盟鴻巣支部長(吹上中学校) 福村 晃太 埼玉県中学校体育連盟鴻巣支部理事長(吹上中学校) 坂巻 麻里 吹奏楽部顧問(赤見台中学校)
事務局職員氏名	鳥沢 保行 鴻巣市教育委員会教育部副部長 池田 耕司 鴻巣市教育委員会教育部副部長兼学務課長 若林 朋子 鴻巣市教育委員会教育部学校支援課長 高橋 和久 鴻巣市教育委員会生涯学習課長 松本 直樹 鴻巣市教育委員会教育総務課長 川口 修 鴻巣市教育委員会スポーツ課長 坂田 義孝 鴻巣市教育委員会教育部学校支援課指導主事
会議次第	1 開会 2 教育部長あいさつ 3 報告事項 (1) 令和5年度「埼玉県新たな地域クラブ活動実証事業」に係る地域ミーティング資料について (2) 鴻巣市立中学校における部活動地域移行の進め方に関するガイドライン(素案)について (3) 鴻巣市立中学校における部活動地域移行の概要及び実施モデルイメージ(素案)について 4 意見交換「鴻巣市の部活動地域移行に向けた具体方策について」 5 諸連絡 ・令和6年度鴻巣市立中学校の部活動地域移行研究懇話会の開催について 6 閉会

会議の内容	<p>(議題)</p> <p>1 鴻巣市の部活動地域移行に向けた具体方策について</p>
	<p>(報告事項など)</p> <p>1 令和5年度「埼玉県新たな地域クラブ活動実証事業」に係る地域ミーティング資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より説明 <p>2 鴻巣市立中学校における部活動地域移行の進め方に関するガイドライン（素案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より説明 <p>3 鴻巣市立中学校における部活動地域移行の概要及び実施モデルイメージ（素案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より説明 <p>(主な意見要旨)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や県をはじめとした補助金を活用するのはよいことである一方、補助がなくなった後も見据えた長期的な視点で予算確保について検討すべき。 ・地域クラブに必要な人数の地域指導者が見つかるのか。人材確保の見通しが見えない。 ・中学校体育連盟主催の大会参画には、種目ごとの要件をもとに慎重な議論と準備が必要。 ・先行実施を開始するタイミングは、新人戦を見据えて検討すべき。 ・地域指導者には行政主催の研修のほか、種目ごとにライセンス制度が様々あるため、整理されるとよい。 ・吹奏楽部の地域指導者には、指揮に携わることができる団体数に制限がある場合もあり、運動部活動とは違った要件に注意が必要である。 ・家庭や生徒のニーズを踏まえ、地域格差なく選択肢が広がるとよい。 ・学校単位の部活動から地域のクラブ活動になることで、試合に出られない生徒が増えないか。 ・市外生徒の受入れについても検討が必要。 ・地域クラブの指導者からは、保護者との連携に課題意識を感じているという声が多い。 <p>(諸連絡)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度鴻巣市立中学校の部活動地域移行研究懇話会の開催について
配布資料	<p>資料1 懇話会次第及び委員名簿</p> <p>資料2 令和5年度「埼玉県新たな地域クラブ活動実証事業」に係る地域ミーティング資料</p> <p>資料3 鴻巣市立中学校における部活動地域移行の進め方に関するガイドライン（素案）</p> <p>資料4 鴻巣市立中学校における部活動地域移行の概要及び実施モデルイメージ（素案）</p>